

IMAMURA YOSHITARO

15th Anniversary of Professional Debut Performance

観世流能楽師 今村嘉太郎

独立十五周年記念公演

道成

姫の恋心は

狂気と化シテ

今村嘉太郎

舞臺子 忠度 観世三郎太
舞臺子 養老 今村 哲朗
本城之伝

赤頭

2025. 5. 24 Sat

開場 12:00 - 開演 13:00 -

大濠公園能楽堂

IMAMURA YOSHITARO

15th Anniversary of Professional Debut Performance *DoJoJi*

チケット販売 「今村嘉太郎君と能楽を楽しむ会」にご入会の方は割引になります。

SS席	一般価格	15,000円	会員価格	12,000円
S席	一般価格	12,000円	会員価格	9,600円
A席	一般価格	10,000円	会員価格	8,000円
B席	一般価格	8,000円	会員価格	6,400円
自由席	一般価格	6,000円	会員価格	4,800円
学生席	一般価格	3,000円		

※当日券は、各席の一般価格にプラス1,000円となります。

会員価格について

会員価格での購入については、下記の「今村嘉太郎君と能楽を楽しむ会事務局」までお問い合わせ下さい。

■ 今村嘉太郎君と能楽を楽しむ会事務局

TEL.070-5416-2621
✉ yoshitarou0423@gmail.com

一般価格チケット販売 会員価格チケット販売

電子チケット販売

お好きな座席が選べてその場で決済、スマホで入場も楽な電子チケット。詳しくは、右記のQRコード、または、下記のURLでご確認下さい。

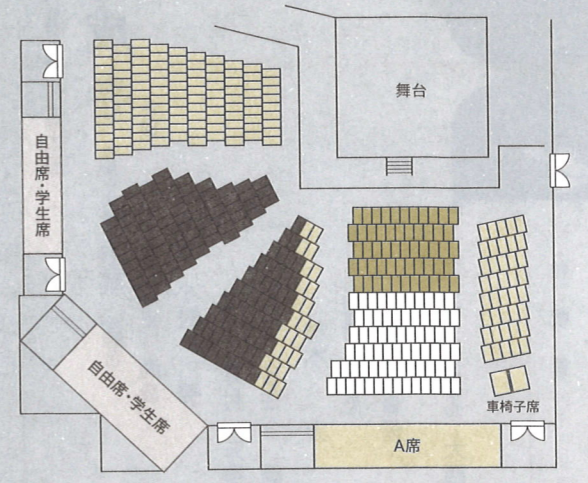
<https://teket.jp/7200/44705>

一般価格チケット販売

観世流能楽師 今村嘉太郎公式サイト

<https://www.yoshitaro.jp/>

一般価格チケット販売



■ SS席 □ S席 □ A席 ■ B席 □ 自由席・学生席

■ 大濠公園能楽堂 TEL.092-715-2155

一般価格チケット販売

観世流能楽師 今村嘉太郎
独立十五周年記念公演
「道成寺」特設サイト

道成寺に関する様々な情報を発信中
ぜひアクセスしてください。



私たちは能楽と今村嘉太郎君を応援します

Special Sponsor

Individual Sponsor

麻生 法晴 様	阿部 和宣 様	石渡 一史 様	磯山 誠二 様	一ノ瀬 勇 様	今村 健二 様	大森 康一郎 様
小澤 利男 様	川原 正孝 様	河邊 哲司 様	木村 政信 様	小齊 康正 様	小林 専司 様	佐藤 栄治 様
佐伯 岳大 様	篠原 俊 様	高山 成吉 様	中村 隆宣 様	西高辻 信良 様	長谷川 裕一 様	濱崎 大吾 様
久恒 兼孝 様	平岡 啓 様	前田 安文 様	安川 哲史 様	山本 慎一 様	吉田 知子 様	吉村 秀二 様

主催 | よしたろう会・一般社団法人今村嘉太郎君と能楽を楽しむ会

後援 | 福岡市・福岡文化連盟

※五十音順に掲載



道成寺

赤頭



独立五周年 道成寺 2015年4月19日

「ごあいさつ」
この度、独立十五周年を記念し「第三回よしたろう会」において、大曲『道成寺』を舞わせていただくこととなりました。

独立五周年で初めて『道成寺』を演じさせていただいてから十年、自主公演を重ねる中で、多くの方々からの温かいご支援とご声援を賜りおかげさまで十五周年を迎えることができました。これまで私と能楽を支え、応援してくださった皆さまに、心より感謝申し上げます。
再び『道成寺』に挑戦するにあたり、この貴重な機会に恵まれたことを深く感謝するとともに、この大曲の奥深さを改めて痛感しております。まだまだ芸の力が及ばぬ身ではございますが、私なりに精一杯演じ、『道成寺』の魅力少しでも皆さまにお伝えできればと願っております。これからの一層研鑽を重ね、皆さまの心に響く能楽をお届けできるよう挑戦し続けてまいりますので、今後とも末永くご支援賜りますようお願い申し上げます。

番組組

養老

水波之伝

今村 哲朗

大鼓 白坂 幸

保行 太鼓 吉谷 潔

正佳 笛 森田 光次

地謡 田中 誠士

井内 政徳

林本 大

今村 嘉伸

森本 哲郎

菊慈童

多久島法子

松虫

木月 晶子

網之段

久保誠一郎

玉之段

坂口 貴信

枕之段

今村 一夫

道明寺

多久島利之

松風

坂口 信男

弱法師

大西 礼久

山姥

森本 哲郎

忠度

観世三郎太

大鼓 白坂 幸

保行 正佳

笛 森田 光次

地謡 杉浦悠一朗

笠田 祐樹

岡 久広

大西 礼久

道成寺

赤頭

白拍子・蛇體 今村嘉太郎

道成寺住僧 御厨 誠吾

大鼓 白坂 成田 達志

信行 太鼓 田中 達

小鼓 成田 達志

笛 杉 信太郎

小倉要二郎

森本 哲郎

從僧 宝生 尚哉

從僧 小林 努

能力 野村 万禄

能力 吉住 講

後見 観世三郎太

林本 大

鐘後見 大西 礼久

今村 哲朗

山口剛一郎

井内 政徳

笠田 祐樹

地謡 今村 一夫

久保誠一郎

岡 久広

大西 礼久

付祝言

終演予定 十六時四十分頃

道成寺の解説

作者に関しては諸説ありますが、観世小次郎信光作の「鏡巻」という能を、短く切りつめ「乱拍子」を中心に構成しなおしたのが、現在の『道成寺』であろうとされています。いわゆる「安珍清姫」の伝説をとりあげながら、それを直接的には扱わず、後日譚の形で劇化し、男に捨てられた女の激しい恋の恨み、死後にまで残る執念の恐ろしさを主題にした作品です。

紀州道成寺では、永らく釣鐘がなかったが此度再興され、今日が吉日なので、鐘楼に上げて供養することになりました。住職(ワキ)は能力(アイ)を呼び出し、その事を命じ、故あって女人禁制である由を触れさせます。やがてそこへ一人の白拍子(前シテ)がやって来て、鐘を拜ませてくださいと頼みます。能力も一度は断りますが、たつての頼みに、舞を見せられるのならば、供養の場所へ入れ借ります。白拍子は喜んで、烏帽子を借り受け、乱拍子を踏み、舞を舞いますが、女はその中に消えます。(中入り)特に、鐘入りと呼びます。物凄く音と地響きに驚いた能力は鐘楼に来て、鐘の落ちたことを知り、住職に報告します。急いで駆けつけた住職は、他の僧侶達に、昔、まなごの莊司の娘が一人の山伏に恋しましたが、男は娘を捨ててこの寺に逃げ込み、鐘の中に隠れた。あとを追って来た娘は、蛇体となって川を渡って寺に入り、その鐘に巻きついて、中の山伏

を焼き殺した。という話を物語ります。そして先刻の白拍子は昔の女の怨霊であろうと、僧侶達と共に祈ります。すると鐘は上がった、中から蛇体の鬼女(後シテ)が姿を現します。僧達の必死の祈禱に、蛇は自身の吐く炎に身を焼き、日高川の深淵に飛び込み身を沈めます。

現行二百数十曲の能の中で、これほど大がかりで大層な曲はありません。まず開演早々四人の狂言方によって、実物大の釣鐘が舞台に吊り上げられます。鐘は作り物ながら八十キロほどあります。能舞台の天井にある滑車も、笛柱に取りつけてある真鍮の鎖も、この能一曲のためにだけ、能舞台を建てる時から設備されているのです。

(乱拍子)裂帛の掛け声をかけ、長い間をおいて打たれる小鼓、シテはそれに合わせて足を出したり引いたり、身がかがめて足拍子を踏んだりするだけの息づまる一段です。これこそ日本舞踊の原点だと言いつける人もあります。充実した静の極地から、突如、煙を切った奔流のように激しい囃子でハッシと打ち落とし、鐘の中へ飛び込みます。(鐘入り)です。シテと鐘後見の呼吸一つにかかった、手に汗を握る一瞬です。シテは暗い鐘の中で、一人で面、装束を着がえ、蛇体となって再び現れ、僧達に激しいどみかかります。

今村嘉太郎

シテ方観世流

1980年福岡生まれ福岡在住
大西智久に師事

幼少より祖父・誠、父・嘉伸に稽古を受ける。

- 2009年「狸々乱(しやうじょうみだれ)」
- 2012年「石橋(いしはし)」
- 2015年「道成寺(みちのけ)」
- 2018年「望月(もちつき)」
- 2022年「安宅(やすき)」
- 2024年「翁(おきな)」

を披く。

公益社団法人能楽協会会員



事前講座 入場無料

2025.5.10(土)

10:00 ▶ 11:30

会場：アクロス福岡 2階 セミナー室 2

どなたでも参加できます。お気軽にお越しください。

解説無料

スマホ de 解説

当日は、スマホとイヤホンがあれば、「道成寺」の解説を無料で聞くことができます。会場にあるQRコードを読み取り、ご利用ください。使用方法などは、会場入口でご確認ください。スマートフォンの機種や設定によっては「スマホ de 解説」をご利用頂けない場合がございます。ご了承下さい。

〈必ずイヤホンをご持参ください〉

※ 音声の再生は、必ずイヤホンをご使用ください。提供／一般財団法人 衆我財団